

出演者募集

「春情鳩の街」

永井荷風 (1879-1959) 東京生れ。

父・久一郎は、現在の名古屋市南区元鳴尾町の出身。ゆかりの地であることから、西来寺境内の本堂脇に「永井荷風追慕碑」が建っている。1903年より外遊。1908年に帰国して『あめりか物語』『ふらんす物語』を發表し文名を高める。1910年、慶応大学教授となり「三田文学」を創刊。その一方、花柳界に入りひたって『腕くらべ』『つゆのあとさき』『暹東綺譚』などを著す。1952年、文化勲章受章。1917年から没年までの日記『断腸亭日乗』がある。

永井荷風の戯曲？いや、永井荷風すらちゃんと知らないのです。皆さんは知ってますか？大丈夫、知らなくてもいい！これから知ればいいんです！僕もこれから知ります！永井荷風は耽美派だそうです。…耽美派ってなんですか？そういう人にこそ、挑戦してほしいです。「春情鳩の街」は男と女の恋愛模様を淡々とそれでいて繊細に描いています。レトロでお洒落で物悲しい。読んでみると気分良くなると思います。是非、参加してください。古い映画を見るような感じの演出をしてみようと思います。

コーディネーター かこまさつぐ (試験管ペビー)



脚本家、演出家、俳優。代表を務める試験管ペビーでは全ての本公演で作・演出を担当。結成21年目を迎え、コロナ禍の中でも精力的に公演を行う。戯曲セミナーで挑戦した真山青果作「頼朝の死」をブラッシュアップして自劇団で公演するなど古典にも挑戦している。

参加内容 公開リーディング出演(講座参加)、見学 **出演者募集中!!**

出演

★発表★
日程：2021年1月21日(木)、22日(金)、28日(木)、29日(金)、30日(土)
時間：19時～21時 | 講座参加費：5,000円(全5回、発表含む)
会場：芸術創造センター 大会議室 | 定員：10～12名

※29日(金)、30日(土)は、終日スケジュールを空けておいてください。
※2021年1月15日(金)20時募集締切。締切日前であっても定員になり次第募集は締め切らせていただきます。

見学

日程：2021年1月21日(木)、22日(金)、28日(木)
時間：19時～21時 | 料金：1回500円 ※公開リーディングのチケット購入者は無料
会場：芸術創造センター 大会議室 | 定員：各日3名程度

申込方法

お問合せTELまたはメールフォームからお申込みください
※定員になり次第募集は締め切ります



申込QRコード

※公開リーディング入場チケットをお持ちの方は、見学【1回500円】が無料でご参加いただけます。
※日本演出者協会会員無料。

参加・見学申込フォーム <https://pro.form-mailer.jp/fms/cbd5f770185777>

永井荷風の戯曲に触れる8日間

「早春」

稽古見学者募集

大正11年正月(1月と言う意味ですね)に書かれた「早春」は、同年1月発行の「明星」に掲載された、極めて短い戯曲です。岩波書店から発刊された「荷風全集」の12巻は、戯曲を集めたモノなのですが、その中でも、会話劇としては、1、2を争う短さです。ゆえに…あらすじを書いてしまうと、何も残らない…。ここでは「父と娘の別れ方、その普遍的な頑固さと本質性」とだけ言っておきましょうか。現代の、我々の、甘ったるい親子関係からすれば、もしかしたら、学ぶべき多くが隠されているようにも思うのですが…。劇作家としては決して大成しなかった荷風ですが、この「早春」なる作品からは、小説家・永井荷風の繊細な一面が、垣間見られる気がします。そんな解釈しがいがある、挑みがいがある作品だと、今は思っています。(文責・はせ ひろいち)

コーディネーター はせひろいち (劇団ジャブジャブサーキット)



劇作家、演出家、劇団ジャブジャブサーキット代表。岐阜大学卒業後、新聞社勤務を経て演劇畑に。書き下ろし戯曲は110本を越す。観客との想像力共有論、繊細な会話研究、知的エンターテインメントが身上。松原・若尾記念演劇賞、名古屋市芸術奨励賞など受賞多数。過去3回岸田戯曲賞の最終候補に残る。現在、日本演出者協会理事、日本劇作家協会会員。岐阜大、静岡文化芸術大、名古屋音楽大で講師。戯曲塾の塾長を長久手市で21年、岐阜市で15年継続中。

出演



ティナ棚橋 (劇団サラダ)



岡田一彦 (劇座)



荘加真美 (劇団ジャブジャブサーキット)



林優花 (劇団ジャブジャブサーキット)



田中さくら (愛知学院大学演劇部"賦")

参加内容 見学 ※公開リーディングのチケット購入者は無料
※出演者の募集はありません

見学

日程：2021年1月23日(土)、26日(火)、27日(水)
時間：19時～21時 | 料金：1回500円
会場：芸術創造センター 大会議室 | 定員：各日10名程度

特別講演会「永井荷風の戯曲と小説」

講師



芥川賞受賞作家の諏訪哲史氏による特別講演会。
荷風の戯曲と小説を諏訪氏流に解説していただきます。

諏訪哲史氏 (芥川賞受賞作家)

作家。1969年名古屋市生まれ。2007年小説『アサツテの人』で群像新人文賞・芥川賞を受賞。他の長編に『りすん』『ロンバルディア遠景』、短編集に『領土』『岩塩の女王』。またエッセー集に『スワ氏文集』『うたかたの日々』、文学批評集に『偏愛蔵書室』『紋章と時間——諏訪哲史文学芸術論集』がある。

＝ 公開リーディング・特別講演会 チケット料金・取扱い ＝

2021年

1/30(土) 14時開演 [13時30分開場] 料金 1,500円

演目：「春情鳩の街 リーディング発表」コーディネーターかこまさつぐ 会場：芸術創造センター
(休憩あり) 諏訪哲史氏特別講演会「永井荷風の戯曲と小説」
(休憩時のみ入場可) 「早春 リーディング発表」コーディネーターはせひろいち リハーサル室

■チケット取扱い

- 日本演出者協会 東海ブロック TEL予約(080)4536-9570(みなみ) / Web予約 日本演出者協会東海ブロックHP
- 名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL(052)249-9387(平日9:00～17:00/チケット郵送可)
- ★名古屋市文化振興事業団が管理運営する施設窓口(文化小劇場、芸術創造センター、青少年文化センター(アートピア)、市民ギャラリー栄、演劇練習館(アクテノン)、東山荘、名古屋能楽堂)

参加、見学、観劇の皆様へ

- ・マスクを着用し、咳エチケットにご協力ください。
- ・会場への入室前に 検温、手指の消毒などをお願いします。(検温の結果37.5度以上の場合は入室をお断りいたします)
- ・参加者名簿【氏名及び連絡先】の作成にご協力ください。(この情報は、感染者が発生した場合などに必要に応じて保健所等の公的機関へ提供することがあります)
- ・スタッフはマスクを着用し、毎日の検温、体温チェック、マスク着用、こまめな手洗い、手指の消毒の徹底を行います。



マスク着用



こまめな手洗い



こまめな検温



検温実施



消毒の徹底

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策実施中

お問合せ：日本演出者協会 東海ブロック(みなみ) TEL.080-4536-9570